

「性的マイノリティ」に関する現状と課題

◆ 性的マイノリティに関する大きな課題は、当事者が社会の中で偏見の目にさらされるなどの差別を受けてきたことです。少数派であるために正常と思われず、場合によっては職場を追われることさえあります。

このような性的指向などを理由とする差別的取扱いについては、現在では不当なことであるという認識が広がっていますが、いまだに偏見や差別が起きているのが現状です。

◆ 例えば、性的マイノリティの方々を差別したり揶揄（やゆ）したりする、次のような言葉を聞くことはありませんか。

「LGBTQって気持ち悪いね」
「ホモ、レズ、おかま、オネエ」
「あの人、そっち系なんじゃない」
「女なんだから化粧ぐらいすれば」
「いつもズボンを着用しているのは、トランスジェンダーだからに違いない」
「男のくせに、ぐずぐずするな」
「なんで彼女がいないんだろう」
「まさか、うちの職場にLGBTQなんていないよね」
「ねえ、知ってた？ あの人レズビアンなんだってさ」

◆ 性的指向・性自認に係る教職員、児童・生徒への正しい理解の促進と、日常の教育活動を通じた人権意識の醸成が求められています。

